

令和元年度における災害の振り返り

令和元年度は、新潟市北区で2度避難所を開設した。幸いどちらも人的な被害はなかったが、市の体制を含め課題が多数出た。今一度振り返り、課題の確認を行う。

1 避難概況について ※自主避難所を含む

(1) 山形県沖地震 令和元年 6 月 18 日 22 : 20

開設避難所数 北区 : 19 避難所 全市 : 136 避難所
 避難者数 北区 : 523 名 全市 : 5,760 名
 避難率 北区 : 0.7% 全市 : 0.73%

(2) 台風 19 号 令和元年 10 月 13 日 7 : 20

開設避難所数 北区 : 21 避難所 全市 : 41 避難所
 避難者数 北区 : 1,244 名 全市 : 1,449 名
 避難率 北区 : 3.0% 全市 : 0.18%

避難所名	山形県沖地震	台風 19 号
葛塚小学校	1 名	31 名
豊栄武道館	-	-
光晴中学校	-	11 名
豊栄高等学校	2 名	56 名
葛塚コミセン	-	-
豊栄地区公民館	0 名	-
豊栄さわやか老人福祉センター	-	-
かやま保育園	-	-
豊栄総合体育館	4 名	-
若葉保育園	0 名	-
葛塚東小学校	11 名	28 名
葛塚中学校	4 名	7 名
県立若草寮	45 名	-
すみれ保育園	-	-
太田保育園	-	-
木崎小学校	-	40 名
木崎中学校	15 名	26 名
木崎コミセン	-	-
笹山小学校	10 名	-
木崎保育園	2 名	-
岡方第一小学校	-	75 名
越岡保育園	-	-
岡方中学校	-	-
岡方コミセン	-	-

避難所名	山形県沖地震	台風 19 号
岡方第二小学校	-	90 名
三ツ森保育園	-	-
豊栄南小学校	-	52 名
長浦コミセン	-	-
早通南小学校	10 名	70 名
早通南保育園	-	-
早通コミセン	-	4 名
早通児童センター	-	-
早通中学校	14 名	79 名
早通北保育園	-	-
松浜小学校	-	52 名
松浜中学校	30 名	80 名
北地区コミセン	-	105 名
太夫浜小学校	100 名	17 名
南浜小学校	0 名	-
南浜中学校	-	-
旧埋蔵文化財センター	-	-
濁川小学校	100 名	285 名
濁川中学校	15 名	61 名
自主避難所名	山形県沖地震	台風 19 号
北区役所	-	8 名
北出張所	160 名	67 名
計	523 名	1,244 名

※自動車による避難は2人/1台で計算

令和元年度における災害の振り返り

2 課題と対応

○山形県沖地震について

(1) 避難所の開設基準について

- ・津波注意報で多数の避難者が出た。
- ・避難所がいつ開かれるかについて疑問が上がった。
⇒新潟市は令和元年 10 月から、津波注意報でも避難所を開設する体制に見直し。
⇒避難所の開設基準について各地区防災訓練等で説明を行っていく。

(2) 車での避難について

- ・高台へ向かって自動車での避難が多数あったため、渋滞が発生した。
⇒渋滞による避難の遅れ、路面液状化による危険性があることから、新潟市としては引き続き徒歩での避難を説明していく。併せて自動車での避難のあり方について地域とともに検討していく。

(3) 無線について

- ・津波に対する緊急避難を促すため、海岸部に同報無線を設置しているが、陸側にも聞こえるようにできないかという要望があった。
⇒現在新潟市では海岸部の特に危険な地域のみを整備しているため、現時点で整備の予定はない。引き続き、各家庭における緊急告知 FM ラジオ使用について説明を行っていく。

○台風 19 号について

(1) 地域のリスクについて

- ・改めて地区の災害リスクを知りたいという声が増えた。
⇒新潟市は、総合ハザードマップを活用し、地区の災害リスクを説明している。
今年度北区では、防災訓練など、延べ 43 回説明会を行った。

(2) 自治会の体制について

- ・地区アンケートの中に、災害の危険がある際、いつ自治会として行動を起こすか、どのように自治会内で情報を共有するかについて検討が必要との意見があった。
⇒平時から地域で検討しておくことが望ましい。

(3) 新潟市からの情報発信について

- ・避難情報が出る際、地域にどのような形で連絡が来るかという声があった。
⇒避難情報をはじめとする緊急情報を発する際は、エリアメールとテレビ、ラジオによる情報発信のほか、にいがた防災メールや SNS も活用している。

(4) 避難所の備蓄、情報提供について

- ・避難所に備蓄がなかった、避難中に情報提供がなかったという声があった。
⇒避難者数が最大で人口の約 19% と想定し、その 1 食相当分を各区の備蓄拠点ほか保管できる避難所に備蓄している。避難所内の備蓄は、避難所運営組織の判断により使用可能だが、避難者全員に食事などを十分に提供できるまでには時間を要する。避難時の非常持ち出し品携行について啓発を行っていく。
⇒にいがた防災メールの区独自配信により情報提供を行っていく。

災害時の情報配信

エリアメールとは・))

危険なエリアにいる人**全員**に緊急情報が届くよう、**基地局**から配信するシステム

(新潟市は**区ごと**に配信)



エリアメールが来たのに避難所が開いてない！！

配信する情報

気象庁ほか(国) _____

- ・緊急地震速報
- ・津波警報
- ・特別警報
- ・Jアラート(国民保護情報)
- ・阿賀野川洪水予報

新潟県 _____

- ・土砂災害警戒情報
- ・土砂災害前ぶれ注意情報

新潟市 _____

- ・避難準備・高齢者等避難開始
- ・避難勧告
- ・避難指示(緊急)

一方で！

避難を促す区域は、被害の恐れがある、真に避難が必要な人を対象に設定する...



なので避難所は...

避難対象区域付近を開設！

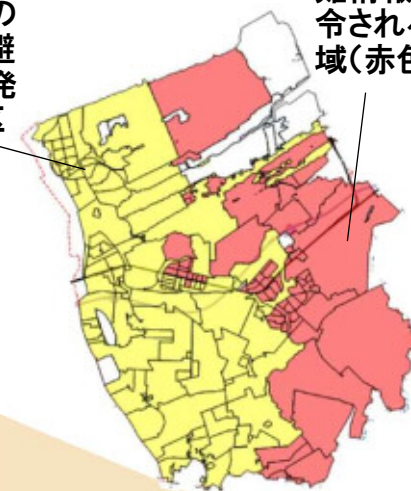
でも、避難対象区域は...

- ・町丁目ごとに発表する！
- ・氾濫前後で異なる！

阿賀野川の場合

阿賀野川の氾濫前に避難情報が発表される区域(黄色)

阿賀野川の氾濫後に避難情報が発表される区域(赤色)

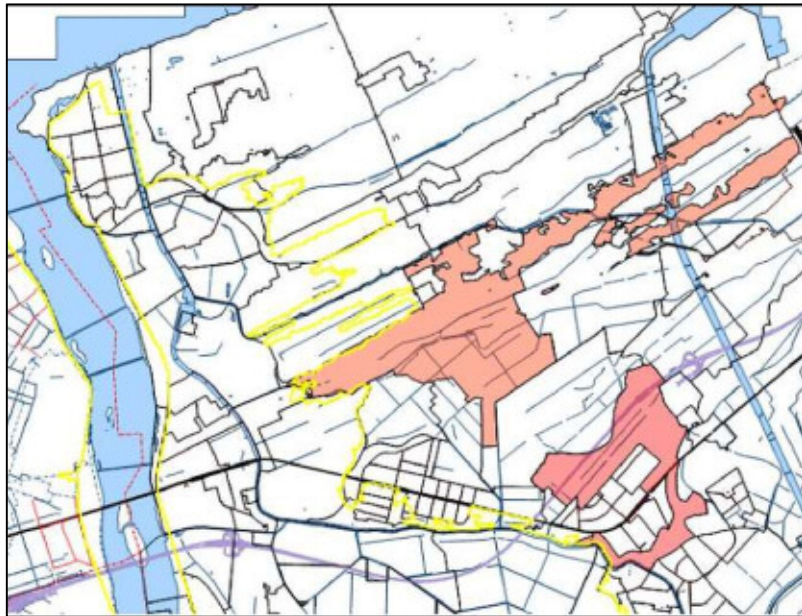


少しでも多くの人に、取りこぼしがないよう配信するシステム！

今後の対策

① 避難対象区域の細分化

「木崎」や「葛塚」のように、範囲の広い町丁目では、避難情報の対象区域が分かりづらいため、より細かい分類を検討する。



② にいがた防災メールの活用

エリアメールだけでは分からない、開設避難所についてや今後の見通しなど、区の状態を直接お知らせする手段として活用する。

From:mm002@mail-mag.net
Subject:避難準備情報

にいがた防災メールです。

【避難準備情報の発令】

阿賀野川の水位上昇に伴い、堤防決壊の恐れがあることから、午前●時■分、▼▼地区の▲▲世帯に避難準備情報を発表しました。開設する避難所は▲▲



にいがた防災メールへの登録

PC(フルブラウザ対応携帯電話用)
http://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/bosai/index_jijo/niigatabousaimail/index.html



モバイルページ
<http://www.city.niigata.lg.jp/mobile/anshin/saigai/bousaimailmobile/index.html>



※ドメイン指定受信を設定されている方は、設定の変更をお願いします。送られてくるメールアドレスは、【mm002@mail-mag.net】です。

避難所の扱いについて

え！避難所に着いたのに
何もない！！

実は目的別に**2種類**あります！！

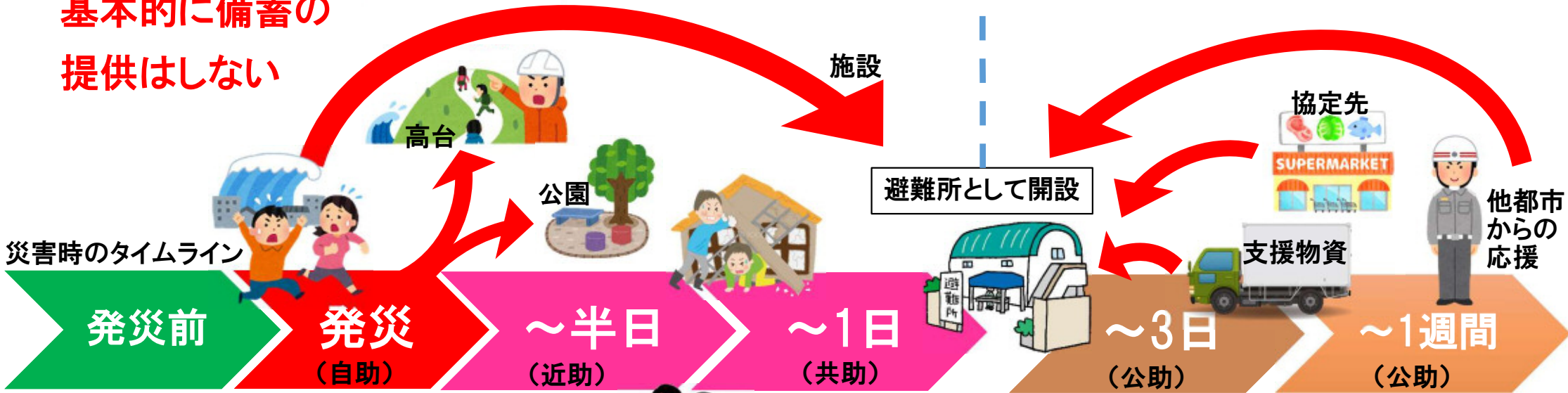
指定緊急避難場所 とは...

切迫した災害の危険から逃れる場所
命を守ることを目的とし、公園や施設を指定
基本的に備蓄の
提供はしない

指定避難所 とは...

災害が一旦**落ち着いた後**、
自宅の生活が困難な避難者
が一時的に**滞在**する施設

緊急避難場所を兼ねることが
多い！！



住民の行動

自分の命を守る
最善の行動

近所の人と
助け合う

地域で協力して
生き残る

災害が落ち着くまでは、
命を守ることを最優先に！！

公的な支援を受けながら生活再建を始める。
自宅で生活できない人は避難所で一時的に滞在する。

皆さんで 備えましょう！

避難情報に気づかず被災してしまう。地区のリスクを知らずに避難して、かえって危険な状況になる。事前に知識やものを備える「自助」を意識して、少しでも被害を減らす「**減災**」に取り組みましょう

避難前

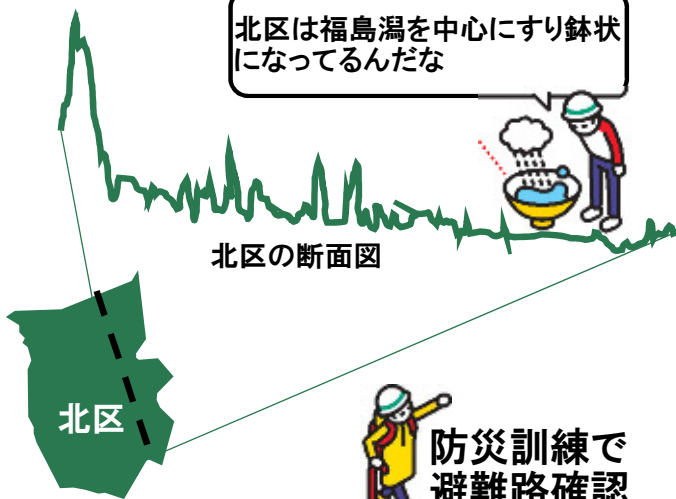


リスクを学ぼう！

ハザードマップを用いて、事前に地区の災害リスクや比較的安全な場所を把握し、「**知識**」の備えをしておきましょう。

北区は福島潟を中心にすり鉢状になってるんだな

北区の断面図



防災訓練で避難路確認

ここが重要!



災害ごとに危険な道も変わる!

発災時

日常から備えよう！

備蓄と言っても2種類あります。緊急避難時に必要な「**非常持出し品**」と、公的な支援を受けるまでの「**備蓄品**」を備えましょう。

日頃から必需品を検討



ここが重要!

少し多めに買うだけで備えに!

普段から使える備蓄品



避難所

よりよい環境にしよう！

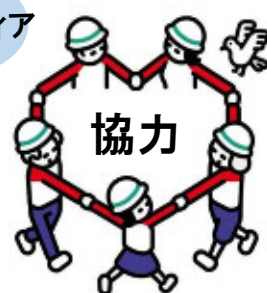
避難所は、そこで生活する地域の皆さんのものです!! 皆さんが生活しやすいよう、ルール決めや秩序の管理を行いましょう。

ボランティア

自衛隊等
様々な支援

施設管理者
施設の管理

市職員
物資・情報の提供



地域住民
避難所の運営

ここが重要!



運営の主体は地域の皆さん!
周りとは協力して避難所運営を!